

自国人民を信じ献身し自主の道を歩む

チュチェ思想国際研究所事務局長
尾上 健一

はじめに

今日、世界人民の前に提起されているもっとも重要な課題は世界の自主化、平和化です。

世界の自主化を実現するためには、各国、各民族が自主の道に進まなければなりません。

すべての国と民族が自主性をもっとも貴重に考え、他国と他民族の自主性とともに尊重する自主の道こそが、世界の自主化へとつながる道です。

チュチェ思想は民衆が社会歴史の主人として登場した新しい時代の指導思想です。

チュチェ思想研究普及活動は、各国人民が自国と世界の自主化を実現する主人として闘っていくための思想的担保となる活動です。

それゆえ、チュチェ思想研究者は、自国人民の中で、自国人民を信じ献身し、誠実に活動をおし進めていくことが重要です。

自国の広範な人々に依拠して活動する模範は、朝鮮労働党創立以来 80 年にわたる歴史に確固と記されています。

朝鮮労働党創立 80 周年は世界人民の慶事

人民の自主性を実現する闘いは、党が前衛となっておし進められます。

朝鮮労働党は、1945 年に金日成主席が創立した時から、正確な目標と戦略・戦術を示し、人民の団結した力で二段階の社会革命、二度の復興建設、社会主義建設をりっぱに成し遂げてきました。

朝鮮労働党は領袖の党であり、領袖の思想と指導を実現する政治組織です。

金正日総書記は、次のように述べています。

「わが党は人民のために存在し、人民の自主的要求と利益のために闘うことを本分としている。人民を愛し、人民のために奉仕し、人民と一体となることが、金日成同志の党の本質であり基本的特徴である」（1995 年『朝鮮労働党は偉大な領袖金日成同志の党である』）

現在、金正恩総書記の指導のもと、朝鮮労働党は「人民大衆第一主義」を貫く党として、さらに発展を遂げています。

2021 年 1 月に開催された朝鮮労働党第 8 回大会では、国家経済発展のための 5 か年計画が明示されました。

5 か年計画によって、朝鮮労働党と人民が社会主義の全面的発展を実現するために、今後、何をどうするべきかということがより明確になり、社会主義建設の新たな勝利を勝ち取るための闘争目標がもたらされるようになりました。

金正恩総書記は次のように述べています。

「私は今回の党大会で、何らかの目新しいスローガンを掲げるよりも、わが党の崇高な『以民為天』『一心団結』『自力更生』という三つの理念を再確認し、それを第 8 回党大会のスローガンにしようと考えました」（2021 年 1 月 12 日『朝鮮労働党第 8 回大会における結語』）

金正恩総書記の発言は、党活動に対する自信と楽観に満ちています。

その根拠は、第 7 回党大会から第 8 回党大会までの闘争期間において得られた成果にあります。

金正恩総書記が身をもって実践する人民大衆第一主義が党活動に貫かれ、党活動家は人民の中に入り、人民を信じて依拠することによって、人民はその底知れぬ力を発揮してきました。革命の原動力は人民の心の中にあることを朝鮮革命の現実が明確に示しています。

朝鮮の社会主義建設の展望が洋々とし楽観に満ちている理由は、さらに、領袖、党、人民の一心団結が全社会的範囲で強まっているからです。

一心団結の本質は、領袖を中心とする人民の絶対的団結です。

人間と人間をむすびつけるもっとも重要な要素は思想です。思想的な団結がもっとも強い団結の在り様です。

朝鮮人民に愛されている歌の多くには、母なる党を慕う人民の心情が歌詞やメロディーに込められています。

金正恩総書記の活動は人民のために一貫しており、民衆の心に革命の火をと

もし、熱く燃え上がらせているといえます。

国際的連帯と朝鮮労働党の地位

現在、米帝国主義は経済的にも、かつてなく暴力的で強硬な政策を貫くようになっていきます。

極端な政策に頼らざるを得ない背景には、米国が歴史的に最低の経済水準に陥り、国際的な影響力が急速に低下していることがあります。

トランプ政権は、中国、インド、メキシコといった国々に対し、高率の関税を一方的に課しています。米国の関税措置は、関税という手段を通じた搾取・収奪に他なりません。

これまで関税率は外交交渉や経済協定を通じて決定されてきました。しかし、米国は協議による合意形成を放棄し、力による通商政策を強行しています。各国が米国の動きに不満を抱いており、それは米国の影響下にあったヨーロッパ諸国においても例外ではありません。

しかし現実には、一部の国が米国の圧力に屈し、高関税を免れるため米国に気に入られようと従属しています。

さらに、米国に付度して、米国が敵視する国、自主性を堅持する国に対して、制裁関税を課す動きが広がっています。すべての国には、自主的な政治をおこなう権利があります。

しかし、対米関係においては、その権利を実際に行使しようとする国は多くはありません。

朝鮮は、自主の立場を徹底して堅持し、米国の脅しや圧力に微動だにしない姿勢で一貫しています。米国がいかに経済制裁を声高に主張したとしても経済的自立をなしとげている朝鮮に打撃を与えることはできません。

帝国主義の本性は侵略と略奪であり、それは帝国主義が存在する限り弱まることも、止むこともありません。むしろ、歴史的没落が決定的となった米欧帝国主義とその傀儡は延命に躍起となり、地球上のすべての大陸、地域で武力侵略を繰り返し、対立と不安を激化させています。

中東では、米帝国主義の庇護のもとにイスラエル、シオニストはガザへの爆撃を続け、さらには地上戦を強行しパレスチナ人民を無慈悲に大量虐殺していま

す。

世界各国では数多くの人々が米帝国主義、イスラエル・シオニストを断罪する闘いに立ち上がっています。

歴史ある一つの国家、民族を地上から消し去ろうとする暴挙は断じて許されず、いかなる暴力をしても人民のたたかいをくじくことはできません。人民の自主と正義のたたかいの炎はいつそう強く燃え上がるのは必至です。

帝国主義暴力に対抗するには、強力な自衛力が不可欠です。革命的武力なしには党と政府の内外政策の成功を期待することも、国の安定と平和な環境を考えることもできません。

朝鮮はすでに核・ミサイル戦力を含む強力な防衛体制を確立しています。米国は、軍事的側面からも、朝鮮に対して圧力を行使する術を持っていません。

また、朝鮮の軍事的強大さは、すぐれた科学軍事技術だけに由来するものではありません。

自主と正義のために、祖国のために躊躇なく一身を投じる人民大衆の闘争によって、政治的生命を何よりも貴重に考える人生観を体得した人民の信念によって、生み出されたものです。

金正恩総書記は、世界の自主化偉業を勝利に導くための思想を明確に示しています。

金日成主席は解放後、自国が困難で厳しい局面にあった時期にも、国際的信義を尊び、各国人民のたたかいを物心両面から支援してきました。

金日成主席の思想と活動は金正日総書記が、そしていま、金正恩総書記によってりっぱに継承されています。

2025 年 9 月 3 日、北京でおこなわれた中国人民抗日戦争と世界反ファシズム戦争勝利 80 周年記念行事には、世界 26 か国の首脳が出席しました。

その中で、人口わずか 2500 万人余の朝鮮の指導者である金正恩総書記が、大国の中国、ロシアの首脳と肩を並べ堂々と歩む姿に世界の耳目が集まりました。

反米闘争において世界を先導している朝鮮の姿は、朝鮮労働党が築き上げてきた輝かしい成果の証左であるといえます。

金正恩総書記は、現時代、もっとも強力な反米反帝闘争の旗手であるとともに、各国人民が進むべき未来社会、社会主義社会の前途を明確に示しています。

朝鮮は、大国の配慮によって地位を得たのではなく、自主・自立・自衛を実現

する厳しい闘争の蓄積の上に、社会主義・共産主義を最先端で建設しています。

おわりに

いま日本は米帝国主義に忠実な傀儡としての道を歩み、国土は米軍の前進基地と化しています。天災は毎年多くの地域を襲い、復旧も成さないうちにまた新たな災害が及ぶにもかかわらず政府は民衆を無視し、莫大な予算は軍備にあてています。

自主と正義を守るたたかいを高揚させ、各国人民と連帯し、帝国主義の終末を早めなければなりません。

日本と世界を自主化し平和化するために求められるのは先頭に立つ活動家の思想の純潔性です。

人民のためにすべてを投じる思想を自らのものとし、チュチェ思想研究普及活動を広範な民衆に依拠しておし進めていきましょう。